

上下流の連続性を考える

—千曲川をフィールドとした生物生産研究の紹介—

応用生態工学会は、生態学と土木工学の関係者が共同し、「人と生物の共存」「生物多様性の保全」「健全な生態系の持続」を共通の目標に研究を進めています。応用生態工学会長野では、「上下流の連続性を考える」を活動のテーマに据え、これまでに長野県内の各河川で行われている多自然川づくりの実例の現地見学会を開催しました。

今回は、日本一の大河である信濃川の上流に位置する千曲川をテーマに、『河川生態学術研究会 千曲川研究グループ』と共同で開催することとなりました。千曲川研究グループでは、2016年より国土交通省河川砂防技術研究開発 地域課題分野（河川生態）の予算を得て、「河川中流域における生物生産性の機構解明と河川管理への応用」のタイトルで、総合調査を実施してきています。千曲川研究グループの成果の一部と水辺環境の保全や復元への取り組みについて発表し、今後の千曲川における環境保全や自然と人との共生のあり方について理解を深めるため、シンポジウムを開催いたします。皆さまのご参加をお待ちしております。

- 日時 平成29年 6月10日(土) 13:00～17:10 (12:30 受付開始)
- 会場 信州大学繊維学部 総合研究棟 7F(上田市)

場所：信州大学繊維学部 総合研究棟 7Fミーティングルーム1

13:00	開会	
13:05～13:35	千曲川研究グループの研究概要	平林公男（信州大学繊維学部） 【千曲川研究グループ代表】
13:35～14:05	千曲川の瀬を使う鳥、淵を使う鳥	笠原里恵 （弘前大学農学生命科学部）
14:05～14:35	千曲川中流域における魚類群集の エサ資源利用パターン	中野 爾 （信州大学理学部）
14:35～14:50	- 休憩 -	
14:50～15:20	千曲川の流域スケールでみる水生昆虫類 移動分散のスケールと方向性、そして本流・支流の関係性について	東城幸治 （信州大学理学部）
15:20～15:50	千曲川中流域における流下有機物量と その起源の変動	戸田任重 （信州大学理学部）
15:50～16:20	瀬淵ユニットにおける流況に関する現地観測と 物質輸送シミュレーションの試み	豊田政史 （信州大学工学部）
16:20～16:40	千曲川中流域における自然再生への取り組みについて	梅澤亮友 （国土交通省千曲川河川事務所）
16:40～17:10	総合討論	
17:30～19:30	意見交換会	※場所：信州大学繊維学部 生協食堂（マルベリーホール）

- 主 催：応用生態工学会長野、河川生態学術研究会
- 後 援：国土交通省北陸地方整備局千曲川河川事務所、信州大学繊維学部

★申し込み方法は裏面をご覧ください⇒

応用生態工学会 長野・河川生態学術研究会 共同シンポジウム

平成 29 年 6 月 10 日 (土)

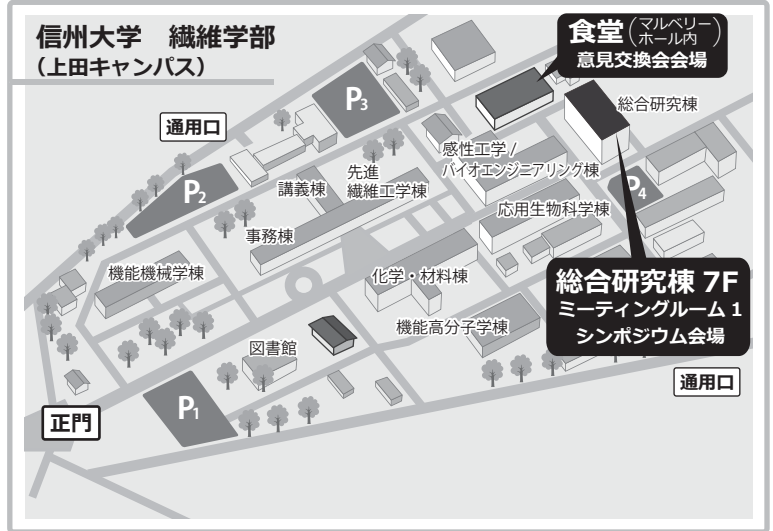
シンポジウム

会場 信州大学繊維学部 総合研究棟 7F (上田市) 長野県上田市常田 3-15-1

交通 [バス] 上田駅より約 10 分

[車] 上田菅平 IC より約 20 分

※駐車場の台数に限りがございますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。



参加申込みと問い合わせ

下記の「参加申込書」にご記入の上、ファックス送信または同じ内容を電子メールでご連絡願います。

参加申込み及び問い合わせ先

応用生態工学会長野 事務局

(株)環境アセスメントセンター内 (担当: 元木)

TEL: 0263-87-2504 FAX: 0263-87-2514

E-mail: motoki@eac-net.co.jp

★申込み〆切: 平成 29 年 6 月 5 日 (月) まで

CPD受講証明書

CPDプログラム認定証明書を発行予定です。

(申請手続き中)

地盤工学会、全国土木施工管理士連合会、農業農村工学会の方は、建設系CPD協議会ホームページ (http://www.cpd-ccesa.org/unit_assent.php) から、「建設系CPD申請書・受講証明書」をダウンロード印刷し、必要事項を記入の上、会場にご持参願います。

参加申込書

送り先 FAX: 0263-87-2514

氏名			所属	
連絡先	電話	E-mail		
参加申込み事項	いずれかに「○」をしてください			参加費 意見交換会: 3,000 円 ※シンポジウムは参加無料 ※意見交換会の会費は、当日、会場にてお支払いください。
	<input type="checkbox"/> シンポジウム	参加・不参加		
	<input type="checkbox"/> 意見交換会	参加・不参加		